



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信

令和7年度 第16号 文責 校長 重富 泰敏

令和7年12月12日

2025年波多江小学校PTA「友愛バザー」

11月22日(土)波多江小PTA友愛バザーが実施されました。

本年度は、6年生はPTAと一緒に企画をつくり、バザーを盛り上げるため、計画段階からPR動画の作成やバザーの呼び込み看板等を作成していきましました。5年生は総合的な学習の時間の「沖縄県佐敷小」との交流の一環で、波多江佐敷会の皆さんの出店の呼び込み体験をしてくれました。子どもたちがPTAと地域行事に関わることで、より一層活気に満ちた楽しい友愛バザーになりました。感想を紹介します。

6年 「協力して、思い出に残った友愛バザー」

ぼくは、焼きそばを担当しました。大変だったことは、校内に宣伝するためのCMづくりです。CMのための小道具をつくったり、出演者の位置を調整するのが大変でした。けれど、当日になって宣伝をしたおかげで、たくさんの方が焼きそばを買いに来てくれて、準備はとても大切なんだと友愛バザーを通して学ぶことができました。また、当日の整列などでも誘導するときは、とてもわくわくした気分になり、楽しく役割を全うすることができました。全校のみなさん、来年も楽しみに友愛バザーの開催を待ちましょう！

6年 「がんばったバザー」

ぼくは、バザーのじゅんぴのとき名札づくりをしました。そして当日は、最後尾の看板を持って、みんながおにぎりを買ってくれるように声かけをがんばりました。ぼくがたくさん声をかけたから、おにぎりが売り切れました。うれしかったです。がんばってよかったなと思いました。これまでのバザーは遊ぶだけだったので、お店の仕事ができて、大変だったけど楽しかったです。

5年 「楽しかったバザーの手伝い」

ぼくは、バザーの手伝いをして、サーターアンダギーを買ってもらえるように、声出しをがんばりました。声出しをがんばってほとんど買ってもらえてうれしかったです。来年もしたいです。

5年 「2人で協力し合ったバザー」

ぼくは、2人でサーターアンダギーを協力して売りました。これで学んだことは、人前で大きな声を出せたことです。来年もバザーで手伝いがしたいです。

【各店舗PTAの方々からの6年生子どもたちの頑張りへのコメント】

- 児童作成の名札をいただき、やる気爆上がりです。6年生に感謝です。
- 6年生が看板を持って、呼び込みをしてくれてとても賑やかでした。
- 袋詰め作業をしてくれてとても助かりました！大きな声で宣伝してもらえたおかげで完売できました。大活躍でした。一体感があって楽しかったです。

【PTA生活環境委員長 大賀 安希子 さん】

- 天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただき、大いに盛り上がりました。ありがとうございました。今年は6年生と一緒にバザーを開催し、企画から参加した6年生はお客さんの呼び込み・販売・店舗内整理など、自ら率先して動いて、立派な仕事ぶりに感動しました。6年生のみんなありがとう。楽しく感動し、感謝したバザーでした。

【区長会長 吉岡 愛一郎 さん・佐敷会 会長 三苫 秀明 さん】

- 沖縄の佐敷との交流が学習や貢献活動のもとになっていることが大変うれしいです。5年生のみなさんが、佐敷とのふれあいのよさを実感することにつながったと思います。交流学習をもとに、運動会でのエイサーや、友愛バザーでのサーターアンダギー販売で、5年生が沖縄（佐敷）を学び続けることをつらぬいた流れが見えるこの一年でした。先生方の地域連携を大切にする御努力に感謝します。みなさんいつか沖縄に行ってみてね！

【PTA会長 角村 香織 さん】

○ 毎年行われる友愛バザーですが、今年度は6年生の児童のみなさんに企画から参加していただきました。そして、子どもたちの運営参加に加えて、「子どもたちの笑顔のために」と、たくさんの地域の方々の力強い御協力がありました。地域・学校・PTAが一体となったバザーとなり、例年以上の盛り上がりだったと思います。違う立場から集まった校区の方々が、交流を深めている姿にふれ、バザーを通して波多江のコミュニティの広がりを感じました。

どの立場の方からも、参加してよかったとだけ思っていた友愛バザーを目指して、今後も運営していきたいと思います。6年生、5年生、ともに大変すばらしい姿でした。関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました！

楽しかった!盛り上がった!参画できた友愛バザー写真コーナー

写真はHPには掲載しません